

プロダクトデータシート

Sikaflex®-271

硬化促進対応可能なガラス窓用接着剤

代表的な製品データ (その他の情報は安全データシートを参照)

主成分		1成分形ポリウレタン
色 (CQP001-1)		ブラック
硬化機構		湿気硬化
密度 (未硬化)	接着剤	1.2 kg/l
形状保持性		とても良い
施工温度範囲	施工環境	10 ~ 45 °C
スキントイム (CQP019-1)		20 分 ^A
オープンタイム (CQP526-1)		15 分 ^A
収縮率 (CQP014-1)		1 %
硬度 (ショアA) (CQP023-1 / ISO 48-4)		65
引張り強度 (CQP036-1 / ISO 527)		7 MPa
破断時の伸び (CQP036-1 / ISO 527)		300 %
引裂き強度 (CQP045-1 / ISO 34)		10 N/mm
引張りせん断強度 (CQP046-1 / ISO 4587)		5 MPa
適用温度範囲 (CQP509-1 / CQP513-1)		-40 ~ 90 °C
	4 時間	120 °C
	1 時間	140 °C
保存期間	ペール缶 / ドラム缶	6 カ月 ^B

CQP = Corporate Quality Procedure

A) 23 °C / 50 % r. h.

B) 25 °C 以下で保存

製品概要

Sikaflex®-271 はガラス窓接着用の弾性ポリウレタン系接着システムです。塗装面、ガラス、セラミックコート、電着塗装面など、商用車の製造、補修におけるガラス窓接着に関連する接着材に適しています。

シーカのブラックプライマーレス接着プロセスに対応しており、シーカのBoosterおよびPowerCureシステムを利用した硬化促進も可能です。

特長

- 非常に良い施工性
- シーカのBoosterおよびPowerCureを使用した硬化促進が可能
- 高い機械的強度
- 無溶剤

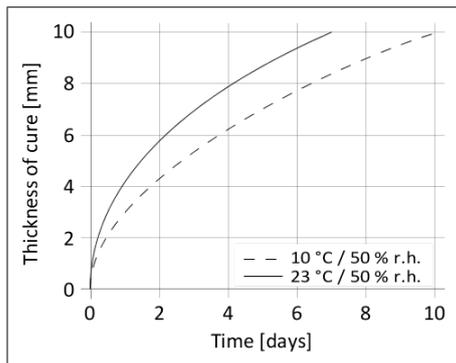
適用範囲

Sikaflex®-271 は、輸送OEM市場におけるバルク包装からの手作業および自動組み立てラインでのガラス窓接着用に特別に開発されています。Sikaflex®-271 を使用する場合は、材料メーカーに確認の上、使用前に現物の被着材で試験を実施してください。

本製品は施工経験のある専門業者での使用を前提としています。使用する被着材に対する接着性と使用条件の適合性の事前確認は必ず実施して下さい。

硬化機構

Sikaflex®-271 は空気中の水分(湿気)との反応により硬化します。一般的に低温低湿時は空気中の水分が少なく、硬化は遅くなります。



グラフ 1: Sikaflex®-271 の硬化速度

耐薬品性

Sikaflex®-271は、一般的に、淡水、海水、希酸および希アルカリ溶液に耐性があります；燃料、鉱油、植物性および動物性油脂、オイルに対しては一時的な耐性があります；有機酸、グリコール酸アルコール、濃無機酸および濃アルカリ溶液または溶剤に対しては耐性はありません。

施工方法

下地処理

表面は清潔で乾燥し、グリス、オイル、ホコリ、そして汚染物質がないようにしてください。

表面処理は、被着材の種類や仕様によって決まり、長期的な接着には極めて重要です。下地処理の方法は、適切なSika®Pre-Treatment Chartの最新版でご確認いただけます。これらの処理方法は経験に基づくものであり、いかなる場合でも現物の被着材での事前試験にて検証してください。

施工

Sikaflex®-271は10℃から45℃の間で施工することができますが、反応性および施工性能の変化を考慮してください。被着材とシーリング材の最適温度は、15℃から25℃の間です。

低温下での粘度上昇を考慮してください。施工を容易にするために、使用前に接着剤を室温に戻してください。接着剤の厚さを均一にするために、三角形形状でのビード塗布を推奨します。(図1参照)

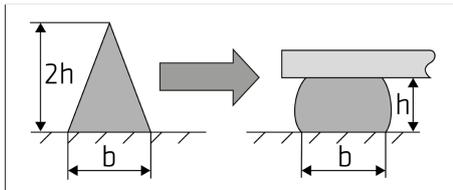


図 1: 三角ビードを上図のように圧着してください。

高温多湿的环境下ではオープンタイムが非常に短くなります。必ずオープンタイム以内にガラスを取り付けてください。接着剤の膜が形成された後は、絶対にガラスを取り付けないでください。

Sikaflex®-271はピストン式のハンドガン、エアガンまたは電動ガンならびにポンプ設備で塗布することができます。ポンプの選定・設定に関するご質問等は、シーカ・ジャパン(株)テクニカルサービスまでお問い合わせください。

除去

硬化前のSikaflex®-271は、Sika®Remover-208または他の適切な溶剤を用いて工具や機器から取り除いてください。硬化後は機械的に取り除くしかありません。手など皮膚に付着した場合は、直ちにSika®Cleaner-350Hのようなウェットタオルや適切な工業用ハンドクリーナーと水で洗い流してください。溶剤は使用しないでください。

その他の情報

ここに記載されている内容は、一般的な情報です。具体的な施工に関するアドバイスは、シーカ・ジャパン(株)テクニカルサービスへお問い合わせください。以下の資料はご要望に応じて提供いたします。

- 安全データシート (SDS)
- ジェネラルガイドライン
1成分形 Sikaflex®の接着及びシーリング

荷姿

ペール缶	23 l
ドラム缶	195 l

データについて

このプロダクトデータシートに記載されたすべての技術データは、研究所でのテストを基にしています。実際の測定データは、当社ではコントロールできない環境の相違のために異なる可能性があります。

健康と安全に関する情報

化学製品の安全な運搬・作業・保管・廃棄を行うために、物質、環境、毒性その他の安全性に関する情報が記載された安全データシートの最新版を、必ずご確認ください。

免責事項

シーカ製品の施工および使用に関する推奨その他の情報は、当社の現時点での知識および経験に従ったものであり、通常の条件下で当社の推奨に従い適切に保管・処理・施工されることを前提としております。実際には、材料、接着面、現場の条件がそれぞれ異なるため、ここに記載されている情報、書面による推奨その他のアドバイスは、商品性や特定目的への適合性について保証するものではなく、また法的関係に基づく責任を生じさせるものでもありません。ユーザーは、シーカ製品がユーザーの意図する施工方法および目的に適しているかどうかを、必ず事前に確認してください。当社は、第三者の財産権を尊重し、製品の特性を変更する権利を有します。すべての注文は、当社の最新の販売・納品条件に従って受注します。ユーザーは常に、使用する製品のプロダクトデータシートの最新版をご参照ください。プロダクトデータシートの最新版は、ご請求いただければ当社がご提供いたします。